

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 7 年 7 月		工事概要	3-2工区 施工延長 L=30.5m	
契約番号	2025000675			下層路盤工 A=226.8m2	
路線名	市道西殿京塚線			上層路盤工 A=210.5m2	
工事等名	社会資本整備総合交付金事業			表層工 A=207.2m2	
	道路改良舗装（西殿京塚線3-2工区）工事			1工区 施工延長 L=260.0m	
工事等場所	南相馬市原町区上高平字竹下 地内外		仕様概要	表層工（車道部） A=549.7m2	
総工事費	当初請負			表層工（歩道部） A=411.5m2	
	当初設計			表層工（進入路） A=105.5m2	
	変更請負			転落防止柵 L=77.0m	
	変更設計			ガードレール L=11.3m	
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消費税相当額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号(2025000675)		
社会資本整備総合交付金事業道路改良舗装(西殿京塚線3-2工区) 工事		
種 別	金 額 (円)	備 考
道路土工		
排水構造物工		
道路土工(舗装工)		
舗装工		
区画線工		
道路附属施設工		
防護柵工		
雑工		
直接工事費		
諸 経 費		(共通仮設費 積上)
工事費計(税抜き)		

※諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名



最低制限価格の設定(算定)について

社会資本整備総合交付金事業道路改良舗装(西殿京塚線3-2工区)工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には ☒ のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲： 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%＋消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

☒ 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ 舗装工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 水道工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費68%

☐ 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋機器間接費)×90%＋一般管理費(製作分＋据付分)×68%

☐ 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費)×90%＋一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

道路改良舗装(西殿京塚線 3-2工区)工事 位置図



凡 例	
62 西殿京塚線	
原町区上高平西殿前 地内外	

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	D1 南相馬市 実施設計書 当初 00000000000 0 1 実施単価 71 S (相双1) 地区 00-07.07.15(0) 1 土木工事 00000000000当初西殿京塚線工事(3-2工区+1工区等)		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正 I C T 施工補正	40 04 道路改良 00 冬期割増なし 01 金銭の保証 06 (土木)一般交通影響有り2 00 必要無し 02 4週8休以上(月単位) 00 I C T 補正なし		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計1
	3	作業日数集計2
	4	作業日数集計3
	5	作業日数集計4
	6	作業日数集計5

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
道路改良					Y100H002672
F=2					
道路土工					Y211Y002677
掘削工					Y3200002678
掘削					Y4400002679
	65.1	m3			
掘削 土砂 小規模(標準)					SPA101 00
	1.0	m3			施工 第0 -0001号表
床掘(掘削)					Y45W5000042
	10.2	m3			
床掘り 土砂 標準					SPA161 00
	1.0	m3			施工 第0 -0002号表
土砂等運搬					Y45W5000008
	44.3	m3			
土砂等運搬 小規模 ハック材					SPA105 00
	1.0	m3			施工 第0 -0003号表
整地					Y440Z004996
	44.3	m3			
整地 残土受入れ地での処理					SPA109 00
	1.0	m3			施工 第0 -0004号表

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路床盛土工					Y3257002687
路床盛土					Y44CA002688
	7.1	m3			
路床盛土 2.5m未満					SPA117 00
	1.0	m3			施工 第0 -0005号表
人力埋戻し					Y45W5000144
	9.6	m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m未満					SPA181 00
	1.0	m3			施工 第0 -0006号表
路肩盛土					Y44CA002688
	8.1	m3			
路床盛土 2.5m未満					SPA117 00
	1.0	m3			施工 第0 -0005号表
法覆土					Y44CA002688
	3.1	m3			
路床盛土 2.5m未満					SPA117 00
	1.0	m3			施工 第0 -0005号表
法面整形工					Y3258002692
法面整形（盛土部）					Y4409002694
	28.1	m2			
法面整形 盛土部 法面締固めあり					SPA301 00
	1.0	m2			施工 第0 -0007号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植生工					Y3200002718
張芝					Y442A002724
	28.1	m2			
法面工（植生筋・筋芝・張芝工）（材料含） 張芝工（野芝・高麗芝・全面張） S3(施工規模 1 0 0 m 2 未満)	1.0	m2			S7045 00 施工 第0 -0008号表
排水構造物工					Y2121002865
側溝工					Y3215002866
プレキャストU型側溝 -A-C-30	23.0	m			Y443G002867
排水構造物工（U型側溝）（材別） L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	1.0	m			S7140 00 施工 第0 -0009号表
U型側溝 普通型 - A - C - 3 0 3 0 × 3 0 1 種	1.0	m			T4040 00
クラッシャー C - 4 0 4 0 ~ 0 mm	0.06	m 3			T8321 00
集水樹嵩上工					Y3215002866
現場土工	1	式			Y443G002867
床掘り 土砂 小規模	0.9	m3			SPA161 00 施工 第0 -0010号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し 小規模 土砂	0.6	m3			SPA181 00 施工 第0 -0011号表
土砂等運搬 小規模 バ ック	0.2	m3			SPA105 00 施工 第0 -0003号表
整地 残土受入れ地での処理	0.2	m3			SPA109 00 施工 第0 -0004号表
集水樹工	1	箇所			Y443G002867
現場打ち集水樹・街渠樹（本体） 18 - 8 - 40 - 60%高炉 0.43m3を超え0.46m3以下	1.0	箇所			SPA633 00 施工 第0 -0012号表
舗装 F=2					Y100I002961
道路土工					Y211Y002962
路体盛土工					Y33K5000009
下層路盤	226.8	m2			Y4438002989
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚150mm 1層施工	1.0	m2			SPD005 00 施工 第0 -0013号表
路側材	0.9	m3			Y4635
クラッシャラン C - 4 0 4 0 ~ 0 mm	1.0	m 3			T8321 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
上層路盤 t=150mm					Y4439002990
	210.5	m2			
上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整碎石 全仕上り厚150mm					SPD009 00
	1.0	m2			施工 第0 -0014号表
路側材					Y4635
	1.2	m3			
粒度調整碎石 M - 40 40 ~ 0 mm					T8344 00
	1.0	m 3			
舗装工					Y2124002982
アスファルト舗装工					Y3212002988
表層（車道部）（3-2工区）					Y443B002992
	207.2	m2			
表層（車道・路肩部） 3.0m超 平均仕上り厚50mm					SPD023 00
	1.0	m2			施工 第0 -0015号表
表層（車道部）（1工区）					Y443B002992
	549.7	m2			
表層（車道・路肩部） 3.0m超 平均仕上り厚50mm					SPD023 00
	1.0	m2			施工 第0 -0015号表
表層（歩道部）（1工区）					Y443B002992
	411.5	m2			
表層（歩道部） 1.4m以上 平均仕上り厚30mm					SPD027 00
	1.0	m2			施工 第0 -0016号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層（進入路）（1工区）					Y443B002992
	105.5	m2			
表層（歩道部） 1.4m以上 平均仕上り厚40mm					SPD027 00
	1.0	m2			施工 第0 -0017号表
区画線工					Y21K0008284
区画線工					Y321A003074
溶融式区画線（外側実線）					Y443T003075
	68.1	m			
区画線工（溶融式）（材料含） 実線15cm					S7301 00
	1.0	m			施工 第0 -0018号表
溶融式区画線（停止線）					Y443T003075
	3.1	m			
区画線工（溶融式）（材料含） 実線45cm					S7301 00
	1.0	m			施工 第0 -0019号表
溶融式区画線（止まれ）					Y443T003075
	19.6	m			
区画線工（溶融式）（材料含） 実線15cm					S7301 00
	1.0	m			施工 第0 -0018号表
道路付属施設工					Y2128003073
道路付属物工					Y321C003094

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
視線誘導標					Y443W003095
	2.0	本			
道路付属物設置工（視線誘導）（材料含） 土中建込用 片面・反射体φ300 支柱φ60.5	1.0	本			S7080 00 施工 第0 -0020号表
防護柵工					Y2126003038
防止柵工					Y321V003044
転落（横断）防止柵					Y44D0003047
	77.0	m			
横断・転落防止柵設置工（材料別途） 土中建込 ビーム式・パネル式	1.0	m			S7150 00 施工 第0 -0021号表
転落防止柵 4段ビーム型（土中建込） 景観色 2.3×φ42.7×3000	1.0	m			T7060 00
路側防護柵工					Y3219003039
ガードレール					Y443R003040
	11.3	m			
防護柵設置工 土中建込（材料含） 塗装 Gr-A-4E S3（施工規模 21m未満）	1.0	m			S7011 00 施工 第0 -0022号表
雑工					Y2128003073
小型標識工					Y3218003051

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
規制標識 一時停止 撤去再設置	1.0	箇所			Y4134
道路標識柱・基礎設置工(路側式) (材料含) 路・単式 メッキ+静(白色)φ60・5 S2(施工規模 2基以下)	1.0	基			S7031 00 施工 第0 -0023号表
道路標識板設置工(案内以外) (材料別途) S2(施工規模 2基以下) 時間的制約を受けない	1.0	基			S7030 00 施工 第0 -0024号表
規制標識 329、330 800	1.0	枚			T6326 00
構造物取壊し工		式			Y329L007140
舗装版切断	22.5	m			Y45T5007148
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	1.0	m			SPD321 00 施工 第0 -0025号表
舗装版破碎	149.2	m2			Y45WA000007
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	1.0	m2			SPD311 00 施工 第0 -0026号表
殻運搬処理 平均厚40mm 設計運搬距離 L=3.6km	6.0	m3			Y45WA000008
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	1.0	m3			SPA961 00 施工 第0 -0027号表
処分料	14.0	t			Y45WA000008

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
調整データ					#0040 A=1,B=1,C=7
		調整式			
処分料（中間処理） がれき類・アスファルト塊	1.0	t			W1000 00
仮設工					Y3200002718
交通安全施工	1	式			Y442B002725
交通誘導警備員B [0.908]	38	人			R0900 00
直接工事費					
営繕費		式			Z0007
工事名標示板 1100×1600 枠付 カプセル反射(オレンジ)	1.0	台			T9941 00
現場環境改善費(積上)		式			Z0010
工事名標示板加算額 (木材使用・据付撤去含む)	2.0	基			T9940 00
共通仮設費(率)		式			Z0009
共通仮設費計					

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費						
現場管理費			式			
工事原価						
一般管理費			式			
工事価格						
工事価格	(まるめ)					
消費税等相当額			式			
工事費計						

施工パッケージ内訳表

頁0-0012

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
掘削 SPA101 土砂 標準単価： 1,212.3 機械構成比：	小規模(標準) 27.26% 労務構成比： 61.70%		施工 第0 -0001号表 1 材料構成比： 11.04% 市場単価構成比：	m3 0.00%
MA181 バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次		27.26%	TPMA181 バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次	
R0120 運転手(特殊) [0.778]		61.70%	TPR0120 運転手(特殊)	
T0250 軽油 ミニローリー(パトロール給油)		11.04%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=5 上記以外(小規模) E=7 小規模(標準) J=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 7				

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0013

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 236.98 機械構成比： 23.14% 労務構成比： 53.20% 材料構成比： 23.66% 市場単価構成比： 0.00% 標準 23.14% 53.20% 23.66% 0.00%			施工 第0 -0002号表 1 m3	
バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3) K9203		23.14%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
運転手 (特殊) [0.778] R0120		53.20%	運転手 (特殊) TPR0120	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		23.66%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=1 標準 C=1 土留なし D=1 障害なし G=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 4				

施工パッケージ内訳表

頁0-0014

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
土砂等運搬 SPA105 小規模 標準単価： 2,119.7 機械構成比：	パック 24.45% 労務構成比： 63.42%		施工 第0 -0003号表 1 m3 材料構成比： 12.13% 市場単価構成比：	0.00%
MA402 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		24.45%	TPMA402 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.793]		63.42%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		12.13%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
* * * 単位当たり * * *				
A=2 小規模 B=5 パック C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D=1 DID区間なし E=17 7.5km以下				
F=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 1 3				

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

頁0-0015

標準單價： 機械構成比： 勞務構成比： 材料構成比： 市場單價構成比：

000000000000	南 相 馬 県	金 抜 き
--------------	---------	-------

施工パッケージ内訳表

頁0-0016

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
路床盛土 SPA117 2.5m未満 標準単価： 6,427.1 機械構成比： 0.81% 労務構成比： 98.92% 材料構成比： 0.27% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0005号表 1 m3	
K2602 振動ローラ (舗装用・ハンドガイド式) 0.8 - 1.1 t		0.81%	TPK2602 振動ローラ [ハンドガイド式] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		89.26%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		9.66%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.27%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 2.5m未満 D=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2 4				

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0017

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 最大埋戻幅1m未満 標準単価： 3,157.9 機械構成比： 9.57% 労務構成比： 86.79% 材料構成比： 3.64% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0006号表 1 m3	
MA23A バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 超低・排ガス2 0 1 4		8.96%	TPMA23A バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 超低・排ガス2 0 1 4	
K2620 タンバ及びランマ 6 0 ~ 8 0 kg		0.61%	TPK2620 タンバ賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		53.01%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		25.36%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手（特殊） [0.778]		8.42%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		2.80%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.84%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
* * * 単位当たり * * *				
A=4 最大埋戻幅1m未満 E=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 1 2				

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0018

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
法面整形 SPA301 盛土部 標準単価： 697.02 機械構成比： 12.19% 労務構成比： 75.67% 材料構成比： 12.14% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0007号表 1 m2	
バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3) K9203		12.19%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
普通作業員 [0.828] R0030		30.88%	普通作業員 TPR0030	
運転手 (特殊) [0.778] R0120		28.21%	運転手 (特殊) TPR0120	
土木一般世話役 [0.775] R0010		16.58%	土木一般世話役 TPR0010	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		12.14%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油 TPT0250	
* * * 単位当たり * * *				
A=1 盛土部 B=1 法面締固めあり C=2 現場制約なし D=2 は質土、砂及び砂質土、粘性土 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 4				

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0019

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面工（植生筋・筋芝・張芝工）（材料含） S7045 張芝工（野芝・高麗芝・全面張） S3(施工規模 1 0 0 m 2 未満)	1	m2			施工 第0 -0008号表
法面工（人力施工による植生工） 張芝工 野芝・高麗芝（全面張） 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.02	1.000	m 2			TA157
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=3 張芝工（野芝・高麗芝・全面張） B=5 S3(施工規模 1 0 0 m 2 未満) C=2 時間的制約を受けない D=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 4					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
排水構造物工（U型側溝）（材別） S7140 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	1	m			施工 第0 -0009号表
U型側溝 機・労 昼間単価 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約 無 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.04	1.000	m			TDG03
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 L=2000mm 1000kg/個以下 B=3 時間的制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=1 側溝長さ標準 E=1 施工場所による補正無し					
F=1 基礎砕石を使用する(又は再利用撤去作業) G=2 再利用撤去無 H=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2					

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0020

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 2,170.7 機械構成比： 小規模 19.87% 労務構成比： 72.99% 材料構成比： 7.14% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0010号表 1 m3	
MA204 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス2次		19.87%	TPMA204 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス2次	
R0120 運転手（特殊） [0.778]		39.96%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 [0.828]		33.03%	TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		7.14%	TPT0250 軽油 1．2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=5 上記以外(小規模) E=1 全ての費用 C=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 4				

施工パッケージ内訳表

頁0-0021

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 小規模 標準単価： 3,871.1 機械構成比： 9.48% 労務構成比： 86.47% 材料構成比： 4.05% 市場単価構成比： 0.00%	土砂		施工 第0 -0011号表 1 m3	
MA204 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス2次		8.90%	TPMA204 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス2次	
MC271 タンバ及びランマ [ランマ] 質量 60～80kg		0.58%	TPMC271 ランマ	
R0030 普通作業員 [0.828]		49.42%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.17%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手（特殊） [0.778]		17.88%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		3.20%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.85%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=5 上記以外(小規模) B=1 土砂 D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準	- 1	- 1 2		

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0022

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）				
SPA633 18 - 8 - 40 - 60%高炉 標準単価： 64,103	0.43m3を超え0.46m3以下 0.97%	85.08%	施工 第0 -0012号表 1 材料構成比： 13.95%	箇所 0.00%
K9205 バックホウ [クローラ型・クレーン機能付] 2.9 t 吊 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3)		0.84%	TPK9205 バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料	
K9203 バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3)		0.08%	TPK9203 バックホウ [クローラ型] 賃料	
R0260 型わく工 [0.898]		32.75%	TPR0260 型わく工	
R0030 普通作業員 [0.828]		26.63%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.92%	TPR0010 土木一般世話役	
R0020 特殊作業員 [0.769]		2.65%	TPR0020 特殊作業員	
T8600 生コンクリート 1 8 - 8 - 4 0 - 6 0 %		13.17%	TPT8251 生コンクリート 1 8 - 8 - 2 5 高炉 W / C 6 0 %	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		0.48%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
B=12 C=1 D=1 E=2 F=13	0.43m3を超え0.46m3以下 バックホウ(クレーン機能付)打設 一般養生・特殊養生(練炭) 高炉 18 - 8 - 40 - 60%			

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0023

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場單價構成比：

[illegible]

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0024

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤（車道・路肩部） SPD005 全仕上り厚150mm 標準単価： 1,202.1 機械構成比： 4.67% 労務構成比： 15.69% 材料構成比： 79.64% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0013号表 1 m2	
MC219 モータグレーダ [土工用] 排ガス 2 次		1.87%	TPMC219 モータグレーダ [土工用] 排ガス 2 次	
MC230 ロードローラ [マカダム] 排ガス 2 次		1.48%	TPMC230 ロードローラ [マカダム] 排ガス 2 次	
K2630 タイヤローラ 質量 8 t ～ 2 0 t		0.48%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		7.32%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		2.44%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]		2.38%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		0.72%	TPR0010 土木一般世話役	
T8321 クラッシャラン C - 4 0 4 0 ～ 0 mm		78.02%	TPT8321 クラッシャラン C - 4 0	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		1.33%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0025

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0026

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
上層路盤（車道・路肩部） SPD009 粒度調整碎石 標準単価： 569.67 機械構成比： 9.88% 労務構成比： 33.13% 材料構成比： 56.99% 市場単価構成比： 0.00%	全仕上り厚150mm		施工 第0 -0014号表 1 m2	
MC219 モータグレーダ〔土工用〕 排ガス2次		3.96%	TPMC219 モータグレーダ〔土工用〕 排ガス2次	
MC230 ロードローラ〔マカダム〕 排ガス2次		3.13%	TPMC230 ロードローラ〔マカダム〕 排ガス2次	
K2630 タイヤローラ 質量 8 t ～ 2 0 t		1.01%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.778]		15.46%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.769]		5.15%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]		5.03%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		1.52%	TPR0010 土木一般世話役	
T8344 粒度調整碎石 M - 4 0 4 0 ～ 0 mm		53.57%	TPT8345 再生粒度調整碎石 R M - 4 0	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		2.81%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0027

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0028

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層（車道・路肩部） SPD023 3.0m超 標準単価： 1,836 機械構成比： 1.35% 労務構成比： 9.47% 材料構成比： 89.18% 市場単価構成比： 0.00%	平均仕上り厚50mm		施工 第0 -0015号表 1 m2	
KQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料		0.87%	TPKQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料	
K2630 タイヤローラ 質量 8 t ～ 2 0 t		0.13%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型（第2次基準値）		0.13%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		3.39%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手（特殊） [0.778]		1.94%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.769]		1.89%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		0.67%	TPR0010 土木一般世話役	
T8415 再生材アスファルト合材 密粒度（ 2 0 ） 最大粒径 2 0 mm		81.56%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度（ 2 0 ）	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		7.06%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		0.47%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0029

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0030

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層 (歩道部) SPD027 1.4m以上 標準単価： 1,657.6 機械構成比： 2.34% 労務構成比： 20.36% 材料構成比： 77.30% 市場単価構成比： 0.00%	平均仕上り厚30mm		施工 第0 -0016号表 1	m2
MC361 アスファルトフィニッシャ [クローラ型]		1.76%	TPMC361 アスファルトフィニッシャ [クローラ型]	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパインド型) 3 - 4 t		0.33%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンパインド型] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		7.67%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		5.13%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		3.54%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		1.84%	TPR0010 土木一般世話役	
T8430 再生材アスファルト合材 細粒度 (1 3) 最大粒径 1 3 mm		69.11%	TPT8010 アスファルト混合物 細粒度 (1 3)	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		7.82%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.33%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0031

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0032

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層 (歩道部) SPD027 1.4m以上 標準単価： 1,657.6 機械構成比： 2.34% 労務構成比： 20.36% 材料構成比： 77.30% 市場単価構成比： 0.00%	平均仕上り厚40mm		施工 第0 -0017号表 1	m2
MC361 アスファルトフィニッシャ [クローラ型]		1.76%	TPMC361 アスファルトフィニッシャ [クローラ型]	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパインド型) 3 - 4 t		0.33%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンパインド型] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		7.67%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		5.13%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		3.54%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		1.84%	TPR0010 土木一般世話役	
T8430 再生材アスファルト合材 細粒度 (1 3) 最大粒径 1 3 mm		69.11%	TPT8010 アスファルト混合物 細粒度 (1 3)	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		7.82%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.33%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0033

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0034

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線工（溶融式）（材料含） S7301 実線15cm	1,000	m			施工 第0 -0018号表
区画線設置工 昼間単価 機・労 [溶融式(手動)] 実線 15cm 時間的制約 無 豪雪補正 無 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.04	1,000.000	m			TDA01
路面表示用塗料 トライックハイト溶融型 白色 JIS K 5665 3種1号	570.000	k g			TDG75
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	25.000	k g			TDG76
接着用プライマー 区画線（溶融式）用	25.000	k g			TDG77
軽油 ミニローリー（バトロール給油）	40.000	L			T0250
材料諸雑費	5.000	%			#09
*** 合 計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 実線15cm B=1 白色 C=3 時間的制約を受けない D=2 豪雪補正 無（A地区損料） E=2 夜間作業 無					
F=1 塗布厚1.5mm G=2 排水性舗装に施工しない H=2 未供用区間に施工しない I=1 土木工事標準積算基準	- 1 - - 2				

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0035

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線工（溶融式）（材料含） S7301 実線45cm	1,000	m			施工 第0 -0019号表
区画線設置工 昼間単価 機・労 〔溶融式(手動)〕 実線 45cm 時間的制約 無 豪雪補正 無 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.04	1,000.000	m			TDA10
路面表示用塗料 トライックハイト溶融型 白色 JIS K 5665 3種1号	1,700.000	k g			TDG75
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	75.000	k g			TDG76
接着用プライマー 区画線（溶融式）用	75.000	k g			TDG77
軽油 ミニローリー（バトロール給油）	73.000	L			T0250
材料諸雑費	5.000	%			#09
*** 合 計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=4 実線45cm B=1 白色 C=3 時間的制約を受けない D=2 豪雪補正 無（A地区損料） E=2 夜間作業 無					
F=1 塗布厚1.5mm G=2 排水性舗装に施工しない H=2 未供用区間に施工しない I=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2					

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0036

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
道路付属物設置工（視線誘導）（材料含）					施工 第0 -0020号表
S7080 土中建込用 片面・反射体φ300 支柱φ60.5	1	本			
道路付属物工 視線誘導標設置・土中建込み 片面反射体φ300 支柱径φ60.5 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	本			TAB02
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 土中建込用 B=9 片面・反射体φ300 支柱φ60.5 C=3 S2（施工規模10本未満） D=2 時間的制約を受けない E=2 夜間作業 無					
F=2 景観色 無し G=2 防塵型（プロペラ型） 加算額 無し H=2 さや管 加算額 無し I=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 4					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
横断・転落防止柵設置工（材料別途）					施工 第0 -0021号表
S7150 土中建込 ビーム式・パネル式	1	m			
横断・転落防止柵設置 土中建込 ビーム式・パネル式 支柱間隔3m 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.04	1.000	m			TC500
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 設置 B=1 土中建込 C=1 ビーム式・パネル式 D=1 S0（10.0m以上） E=2 時間的制約を受けない					
F=4 支柱間隔 3m（補正なし） G=2 夜間作業 無 H=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 15					

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0037

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防護柵設置工 土中建込 (材料含) S7011 塗装 Gr - A - 4 E S 3 (施工規模 21m未満)	1	m			施工 第0 -0022号表
ガードレール 土中建込 塗装品 Gr - A - 4 E 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	m			TA202
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 塗装 Gr - A - 4 E B=4 S 3 (施工規模 21m未満) C=2 時間的制約を受けない D=2 曲線部 無 E=1 加算額 無し					
F=2 夜間作業 無 G=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 2					

道路標識柱・基礎設置工(路側式) (材料含) S7031 路・単式 メッキ+静 (白色) φ60.5 S 2(施工規模 2基以下)	1	基			施工 第0 -0023号表
道路標識設置工 標識柱 (路側式) 単柱式 下地垂鉛メッキ+静電粉体塗装 φ60.5 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	基			TA605
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 路・単式 メッキ+静 (白色) φ60.5 B=3 S 2(施工規模 2基以下) C=2 時間的制約を受けない D=0 アンカーボルトの重量 (kg / 基) E=0 曲げ支柱本数 (本 / 基)					
F=2 夜間作業 無 G=2 景観色塗装 無 H=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 3					

00000000000

南 相 馬 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0038

[illegible]

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0039

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版切断 SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 673.26 機械構成比： 15.42% 労務構成比： 57.13% 材料構成比： 27.45% 市場単価構成比： 0.00%	15cm以下		施工 第0 -0025号表 1	m
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.49%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.60%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.55%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.828]		8.73%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 4 5 c m (1 8 インチ)		23.29%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 1 8 インチ (4 5 c m)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.83%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 15cm以下 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 1				

000000000000

南 相 馬 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0040

標準単価：機械構成比：労務構成比：材料構成比：市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版破碎 SPD311 アスファルト舗装版 標準単価：207.06機械構成比：13.49% 労務構成比：80.49% 材料構成比：6.02% 市場単価構成比：0.00%	障害等なし		施工 第0 -0026号表 1	m2
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 KQ049		13.49%	バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 TPKQ049	
土木一般世話役 [0.775] R0010		28.91%	土木一般世話役 TPR0010	
運転手 (特殊) [0.778] R0120		27.69%	運転手 (特殊) TPR0120	
普通作業員 [0.828] R0030		23.89%	普通作業員 TPR0030	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		6.02%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 障害等なし C=1 騒音振動対策不要 D=1 15cm以下 F=1 積込作業あり				
G=1 全ての費用 H=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 2				

施工パッケージ内訳表

頁0-0041

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 舗装版破碎 標準単価： 2,839.5 機械構成比： 44.95% 労務構成比： 38.97% 材料構成比： 16.08% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0027号表 1 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	m3
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		44.95%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.793]		38.97%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		16.08%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=3 舗装版破碎 B=3 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) C=1 DID区間なし D=17 6.5km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - 2 5 - 1				

市道 西殿京塚線 (その2)			数 量 総 括 表			
工事区分	工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考
令和 7 年度 道路改良工事						
	土 工					
	(切土)					
		バックホウ掘削		m3	65.1	
		バックホウ床掘		m3	10.2	
	(盛土)					
		路床盛土	(1.0m≦W<2.5m)	m3	7.1	
		人力埋戻	(W<1.0m)	m3	9.6	
		路肩盛土		m3	8.1	
		法 覆 土		m3	3.1	
		盛土法面仕上げ		m3	28.1	A=17.6+10.5=28.1m2
	(捨土)					
		捨 土		m3	44.3	
	法 覆 工					
		張 芝		m2	28.1	
	排水構造物工					
		U型側溝設置	(Ⅲ-A-c-30)	m	23.0	
		集水桝嵩上工		式	1.0	別紙内訳書
	路 盤 工					
		下層路盤工	切込砕石 (C-40) t =15cm	m2	226.8	A=226.82m2
		路側材2	切込砕石 (C-40)	m3	0.9	
		上層路盤工	粒調砕石 (M-40) t =15cm	m2	210.5	A=210.49m2
		路側材1	粒調砕石 (M-40)	m3	1.2	
	舗 装 工					
		表 層 工	車道部 再生密粒度As20、 t =5cm	m2	207.2	3-2工区
		表 層 工	車道部 再生密粒度As20、 t =5cm	m2	549.7	1工区
		表 層 工	歩道部 再生密粒度As13、 t =3cm	m2	411.5	1工区
		表 層 工	進入路 再生密粒度As13、 t =4cm	m2	105.5	1工区
	交通安全施設工					
		区 画 線	白色溶着 外側実線、W=15cm	m	68.1	
		区 画 線	白色溶着 停止線、W=45cm	m	3.1	
		区 画 線	白色溶着 文字、W=15cm換算延長	m	19.6	一時停止 (止まれ)
		大型デリネーター	土中片面、φ300	箇所	2.0	

[illegible]

[illegible]

No.1-1

測 点 番 号	距 離	バックホウ掘削			バックホウ床堀			路床盛土		
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量
No.0	0.000	5.2			0.0			0.0		
No.0+5.00	5.000	1.2	3.20	16.0	0.4	0.20	1.0	0.7	0.35	1.8
No.1	15.000	2.7	1.95	29.3	0.5	0.45	6.8	0.0	0.35	5.3
No.1+7.54	7.540	1.5	2.10	15.8	0.1	0.30	2.3	0.0	0.00	0.0
No.1+10.50	2.960	1.2	1.35	4.0	0.0	0.05	0.1	0.0	0.00	0.0
小 計	30.500			65.1			10.2			7.1
合 計	30.500			65.1			10.2			7.1

No.2-1

[illegible]

No.3-1

測 点 番 号	距 離	盛土法面仕上(左)			盛土法面仕上(右)					
		断 面	平 均 数	量	断 面	平 均 数	量	断 面	平 均 数	量
No.0	0.000	0.0			0.0					
No.0+5.00	5.000	1.3	0.65	3.3	0.6	0.30	1.5			
No.1	15.000	0.4	0.85	12.8	0.4	0.50	7.5			
No.1+7.54	7.540	0.0	0.20	1.5	0.0	0.20	1.5			
No.1+10.50	2.960	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
小 計	30.500			17.6			10.5			
合 計	30.500			17.6			10.5			

交 通 誘 導 警 備 員 算 出 根 拠 表

[illegible]

交通誘導警備員算出根拠表

名称	規格1 規格2	単位	数量	日当り作業量	作業日数 集計1	作業日数 集計2	作業日数 集計3	作業日数 集計4	作業日数 集計5	備考	コード
側溝工					1						Y3215002866
プレキャストU型側溝	Ⅲ-A-c-30	m	23.0								Y443G002867
排水構造物工(U型側溝)(材別)	L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	m	1.0	43	0.5						S7140
集水樹嵩上工					1						Y3215002866
現場土工		式	1								Y443G002867
床掘り	土砂 小規模	m3	0.9	32	0.0						SPA161
埋戻し	小規模 土砂	m3	0.6	40	0.0						SPA181
土砂等運搬	小規模 バックホウ; 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	0.2	17	0.0						SPA105
整地	残土受入れ地での処理	m3	0.2	434	0.0						SPA109
集水樹工		箇所	1								Y443G002867
現場打ち集水樹・街渠樹(本体)	18-8-40-60%高炉 0.43m3を超え0.46m3以下	箇所	1.0	2	0.5						SPA633
舗装											Y100I002961
道路土工											Y211Y002962
路体盛土工					1						Y33K5000009
下層路盤		m2	226.8								Y4438002989
下層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚150mm 1層施工	m2	1.0	940	0.2						SPD005
路側材②		m3	0.9								Y4635
上層路盤	t=150mm	m2	210.5								Y4439002990
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整碎石 全仕上り厚150mm	m2	1.0	940	0.2						SPD009
路側材①		m3	1.2								Y4635
舗装工											Y2124002982
アスファルト舗装工					1						Y3212002988
表層(車道部)(3-2工区)		m2	207.2								Y443B002992
表層(車道・路肩部)	3.0m超 平均仕上り厚50mm	m2	1.0	2300	0.1						SPD023
表層(車道部)(1工区)		m2	549.7								Y443B002992
表層(車道・路肩部)	3.0m超 平均仕上り厚50mm	m2	1.0	2300	0.2						SPD023
表層(歩道部)(1工区)		m2	411.5								Y443B002992
表層(歩道部)	1.4m以上 平均仕上り厚30mm	m2	1.0	940	0.4						SPD027

交 通 誘 導 警 備 員 算 出 根 拠 表

[illegible]

交通誘導警備員算出根拠表

名称	規格1 規格2	単位	数量	日当り作業量	作業日数 集計1	作業日数 集計2	作業日数 集計3	作業日数 集計4	作業日数 集計5	備考	コード
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	1.0	203	0.1						SPD321
舗装版破碎		m2	149.2								Y45WA000007
舗装版破碎	アスファルト舗装版 障害等なし	m2	1.0	484	0.3						SPD311
殻運搬処理	平均厚40mm 設計運搬距離 L=3.6km	m3	6.0								Y45WA000008
殻運搬	舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	m3	1.0	20	0.3						SPA961
処分料		t	14.0								Y45WA000008
仮設工											Y320O002718
交通安全施工		式	1								Y442B002725
				合計 (日)	19						
				合計(変更)(日)							

19日×2人=38人

特記仕様書

工事番号： 2025000675

路線河川名： 市道西殿京塚線

工事名： 社会資本整備総合交付金事業 道路改良舗装
(西殿京塚線 3-2 工区) 工事

工事施工箇所： 南相馬市原町区上高平字竹下地内外

1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和7年4月1日改正）」に基づき実施しなければならない。

2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、☒としている箇所である。

ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。

- ・第4章 情報共有システム・遠隔臨場
- ・第5章 労働者確保に関する積算方法の試行工事
- ・第6章 快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）
- ・第7章 週休2日確保モデル工事等
- ・第8章 建設キャリアアップシステム活用工事
- ・第9章 ふくしまME資格取得者の現場活用
- ・第23章 法定外の労災保険の付保
- ・第24章 異常気象時における現場状況の報告
- ・第25章 再生資源利用計画書
- ・第26章 再生資源利用促進計画書
- ・第29章 その他

3 第2章～第6章、第15章～第22章が適用される場合は、具体的内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。

※ 福島県ホームページ＞組織でさがす＞技術管理課＞特記仕様書

4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。

5 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
平面図	1	1	
縦断図・標準横断図	2	1	
横断図	3	1	
構造図	4	1	
展開図	5	1	
平面図	6	1	
車道舗装工展開図	7	1	
歩道舗装工展開図	8	1	
計	全 8 葉		

6 以下（別紙）の図面は参考図とする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
計	全 葉		

7 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

8 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

9 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）※」（福島県土木部）を活用すること。

※技術管理課ホームページ参照

福島県南相馬市

- ☒ 1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- | | | | |
|--------------------------|---------------------------------------|---|----------------------------|
| 1) 国有・民有保安林 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 2) 鳥獣保護区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 4) 鉄道近接区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 5) その他（県営基盤整備事業(高平中部地区)） | ☒ 有 | ・ | ☐ 無 |

- ☒ 2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第5章 埋設物（共通仕様書 土木工事編Ⅲ）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

- ☐ 3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 ☐有 ・ ☐無
有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

- ☐ 4 ~~河道掘削に伴う工事測量~~

~~河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。~~

☐ 第2章 ~~フレックス工事~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。~~

☐ 第3章 ~~準備期間確保工事~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間（〇〇日間）内に着工日を任意に設定できる工事である。~~

第4章 情報共有システム、遠隔臨場

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

情報システム実施の可否にかかわらず、本工事の提出書類については、可能な範囲で電位媒体により納品を行うものとする。

情報共有システム実施は、南相馬市建設工事情報システム実施要領によること。

第5章 ~~労働者確保に関する積算方法の試行工事~~

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- ☐ 1 ~~労働者確保に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：_____％~~

~~□2 労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舍の維持・補修に要する費用）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：_____％~~

第6章 ~~快適トイレの設置~~

~~（本章は災害復旧工事を除くすべての工事に該当する）~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。~~

~~設置の可否については、現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。~~

第7章 週休2日確保モデル工事等

（本章はすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、「福島県土木部週休2日等工事試行要領」に定める工事のうち、☒としている箇所の対象工事である。

☒「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」 ☒月単位 ☐通 期

☐「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」 ☐月単位 ☐通 期

☐「完全週休2日モデル工事（発注者指定型）」

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休2日の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることが出来る。

第8章 ~~建設キャリアアップシステム活用工事~~

~~（本章はすべての工事に該当する）~~

~~1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。~~

~~2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。~~

~~（※なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照）~~

第9章 ~~ふくしまME（メンテナンスエキスパート）資格取得者の現場活用~~

~~（本章はすべての工事に該当する）~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

☒第10章 総 則

☒ 1 施工計画書

工程管理は バーチャート により行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」
（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

☐ 2 工事用地等の使用

☐ 1) _____ 作業に係るヤードとして、別添「_____ 図」による土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

☐ 2) 使用にあたっての条件、制限等

☐ 3 関連工事

1) 工 事 名 : _____

2) 路河川名 : _____ 線・筋

3) 施工箇所 : _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

4) 注意・指示事項 : _____

☐ 4 支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目 : _____ 数量 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

☐ 5 工事現場発生品

1) 工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

2) 従来施設の撤去により発生した _____ は、 _____ 材料として再使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければならない。

☒ 6 建設副産物処理

☐ 1) 下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

☒ 2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設※
アスファルト塊	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	加藤道路(株)

--	--	--

※ 積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- 3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

□7 中間検査に関すること

- 1) 以下の対象工事（工種）の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、①～④に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事 (工種)	実施時期	備考 (具体的な工種等)
①竣工検査時に確認困難な工事(工種) (足場、仮設を撤去すると現場に行けなくなる等。)	☐ 有 ・ ☐ 無	・対象工種が完成してから足場、仮設等を撤去するまでの間。	
②不可視部の工事(工種)で2)に示すもの	☐ 有 ・ ☐ 無	・不可視部の施工が完了、又は概ね完了した時。 ・鉄筋構造物については、配筋が完了、又は概ね完了した時。	2)に示す工事 (工種)
③工期が1年以上となる工事。	☐ 有 ・ ☐ 無	・協議による。	
④その他、発注者が必要とする工事(工種)	☐ 有 ・ ☐ 無	・製作、仮組みが完了した時。 ・その他、発注者の指示による。	3)に示す工事 (工種)

注1) 監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。

また必要に応じ実施時期を修正すること。

- 2) ②不可視部の工事（工種）とは次のものとする。

- 杭基礎、□場所打杭、□深礎杭、□ケーソン基礎、□地盤改良
□捨石均し、□被覆・根固め均し、□井筒潜函基礎、□山腹基礎床掘
□上層路盤（1,000m²以上の工事）
□現場打ちのボックスカルバート、擁壁（鉄筋 Co）
□橋台・橋脚、□現場制作 P C 橋、□床版
□水門・樋門
□ブロック製作、ケーソン製作
□覆工 Co の前段工事
□その他【

】

- 3) ④その他、発注者が必要とする工種（工事）とは次のものとする。

- ☐桁の仮組立
☐水門扉、☐可動堰、☐スノーシェッド、☐ポンプ施設、☐除塵機、☐栈橋
☐堰堤（Co、盛土）
☐堰（工場制作）、ラバーダム
☐地盤変動等の影響が予想される掘削
☐仮橋、路面覆工（一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの）
☐仮堤防（本堤防と同等の機能を求める仮堤防）
☐その他【

】

□ 8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備考

☑ 9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

□ 1) 出来形管理

工 種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所

□ 2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

□ 3) 写真管理

工 種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度

□ 10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢28日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘 要

□ 11 用地取得及び支障物件

- 【支障物件移転予定時期】 年 月 (☐ 上旬 ☐ 中旬 ☐ 下旬)

また、協議様式は、監督員の指示によること。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

2) 作業工程における注意事項:

- ☐ 工期全体
 ☐ 上記「工事を施工しない日」
 ☐ _____ に適用

□ 1) 指定仮設の有無 □ 有 ・ □ 無

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考

- 8 -

仮設物名： _____ 数量等： _____
 存置期間： _____

□ 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計上費目	実施する項目数	実施する内容 (率計上分)
現場環境改善 (仮設備関係)	()	① 用水・電力等の供給設備 ② 緑化・花壇 ③ ライトアップ施設 ④ 見学路及び椅子の設置 ⑤ 昇降設備の充実 ⑥ 環境負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	()	① 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む) ② 労働者宿舍の快適化 ③ デザインボックス(交通誘導警備員待機室) ④ 現場休憩所の快適化 ⑤ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	()	① 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) ② 盗難防止対策(警報器等) ③ 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	()	① 完成予想図 ② 工法説明図 ③ 工事工程表 ④ デザイン工事看板(各工事PR看板含む) ⑤ 見学会等の開催(イベント等の実施含む) ⑥ 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 ⑦ パンフレット・工法説明ビデオ ⑧ 地域対策費(地域行事等の経費を含む) ⑨ 社会貢献

☑ 17 工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を 2 基設置すること。

□ 18 六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)

本工事は、「六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(六価クロム溶出試験対象工種及び検体数)

工種	工法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

(タンクリーチング試験対象工種及び検体数)

工 種	工 法	検体数	備 考
		検体	
		検体	
		検体	

□第11章 材 料

□1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

※ 設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

□2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考

※ 再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()

※ 備考欄で種別を選択する。（試験のカッコ書きは試験方法を記入する）

□3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等
-------	-----	-------

☑第12章 一般施工

□1 建設発生土の処理

□1) 他工事への流用: □有 ・ □無

工事名: _____ 路河川名: _____

施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

運搬距離 _____ km

☑2) 搬出先

受入場所: 市土捨て場(鹿島区字南右田字蛭田)

運搬距離 6.7 km (積算上)

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法（開発許可）、森林法（林地開発）、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法（改正宅地造成等規制法）などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

□2 他工事からの流用土

□1) 他工事からの流用: □有 ・ □無

① 工事名: _____ 路河川名: _____

② 指定・施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

③ 運搬の有無: □有 ・ □無 (_____ km)

④ 品 質: _____

品質の確認試験(_____)については、 _____ で実施する。

□3 購入土等

□1) 購入土等の有無: □有 ・ □無

□2) 購入土等の種類: □購入土 ・ □岩ズリ ・ □その他(_____)

□3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。

□4) 購入土等が1工事あたり1,000m³以上の場合は、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

□4 建設汚泥(泥土)の処理

□1) 汚泥(泥土)は、 _____ による改良を行い、 _____ として再利用する。

□2) 改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における _____ とする。

□3) 改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。

- なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。
- 4) 改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

☑ 5 レディーミクストコンクリートの養生

- ☑ 1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の☑印のとおり。

コンクリート種別	□ 普通ポルトランドセメント	
	☑ 高炉セメント B 種 ¹⁾	
	□ 混合セメント B 種	□ フライアッシュセメント B 種 □ シリカセメント B 種
気象条件	□ 早強ポルトランドセメント	
	☑ 暑中コンクリート(日平均気温が 25℃を超える場合)	
	☑ 寒中コンクリート(日平均気温が 4℃以下になる場合)	
	構造物の露出状態	□ 連続して、あるいはしばしば 水で飽和される部分 ²⁾ ☑ 普通の露出状態

- 1) 「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html>

- 2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される部分。

□ 6 塗装工

- 1) 塗装回数は下塗____回、中塗____回、上塗____回とする。
- 2) 塗料の種類は下記のとおりとする。

種別及び箇所	細 別	塗料の種類	目標塗膜厚(μm)
工場塗装	下塗り 1 層		
	下塗り 2 層		
現場塗装	中塗り 1 層		
	中塗り 2 層		
	上塗り 1 層		
	上塗り 2 層		

- 3) 素地調整(ケレン)は____とする。
- 4) 詳細の色彩等については監督員と協議のこと。

□ 7 現場打ちの鉄筋コンクリート構造物施工

- 1) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」により施工する。
- 2) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたり、設計図書等に「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」及び「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン」を採用していない場合は、採用についての協議を行うことが出来る。

□第13章 その他施工

□1 工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備考

□2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

□4 ポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物の使用 ※ 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位 1 日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位 1 ミリメートルにつき回)	該当欄

第1種、第2種	3,000 以上	3,000	
第3種第1級及び第2級	3,000 未満	1,500	
第4種第1級			
その他		500	
	交差点等耐流動対策混合物として使用	1,500	

- 5 植栽工 ※ 植栽に係る直接工事費が50万円以上となる工事の場合に記載
本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。
また、工事完成届提出時まで、植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

□6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

□第14章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」第1編第1章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針のㄥ印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

□1 工事を行う基本方針（指針P13）

基本方針1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- ① 特定の人々が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- ② 右利き、左利きに対応した施設
- ③ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- ④ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- ⑤ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- ⑥ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- ⑦ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- ⑧ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- ⑨ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ⑩ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ⑪ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
- ⑫ プライバシーに配慮された施設
- ⑬ 天候や季節に左右されない施設
- ⑭ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針2 すべての人が 簡単 に利用できる施設

- ① 使い方を直感的に理解できる施設
- ② 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ③ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針3 すべての人が 安全 に利用できる施設

- ☐① 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ☐② 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ☐③ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ☐④ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ☐⑤ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ☐⑥ 危険な部分が防護されている施設
- ☐⑦ 四季を通じて安全な施設
- ☐⑧ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

基本方針4 さりげなく 美しい 施設

- ☐① 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ☐② 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- ☐③ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- ☐④ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設

- ☐① できる限り同じ手段で利用できる施設
- ☐② 利用者に応じた使い方が選べる施設
- ☐③ 利用者のペースに合わせることができる施設
- ☐④ 情報がその重要さに応じて提供される施設
- ☐⑤ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

☐2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

☐第15章 記録保存の資料作成

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- ☐1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路構造物の記録保存資料
- ☐2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路舗装構成等の記録保存資料

☐第16章 1日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が1日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

□第17章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：〇〇工区（施工箇所〇〇、〇〇）、△△工区（施工箇所〇〇）、
□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）
（なお、積算上の親工区は、△△工区（施工箇所〇〇）とする。）

□第18章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□第19章 ICT活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事の発注方式は（ ☐受注者希望型 ・ ☐発注者指定型 ）である。

□2 ICT活用工事（土工）

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（土工等）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（土工）」の対象工事である。

□3 ICT活用工事（舗装工）

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（舗装工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（舗装工）」の対象工事である。

□4 ICT活用工事（浚渫工（港湾））

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（浚渫工（港湾））実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（浚渫工（港湾））」の対象工事である。

□5 ICT活用工事（土工1,000m³未満）

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（土工1,000m³未満）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（土工1,000m³未満）」の対象工事である。

□6 ICT活用工事（小規模土工）

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（小規模土工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（小規模土工）」の対象工事である。

□第20章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

□第21章 「総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

☑第22章 熱中症対策に関する現場管理費の補正及び工期の設定

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。

2 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

i) 作業不能日数：5日間

ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方相馬(福島)地点における WBGT 値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分(令和2年～6年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間に WBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したもの5年分を平均したものの。

iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方相馬(福島)地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

第23章 法定外の労災保険の付保

(本章はすべての工事に該当する)

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類(証券等の写し)を提出しなければならない。

第24章 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

(2) 震度5弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度5弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度4の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

- ① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。
- ② 休工中であれば、必要に応じ2名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。
- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員(連絡が取れない場合は、係長又は課長)に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、FAX又はメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後1時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度5弱以上の地震時

地震発生後1時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

(別紙様式)

〇〇〇建設事務所 〇〇〇部 〇〇課 〇〇〇 行 (FAX:024-〇〇〇-〇〇〇〇)

施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

異常気象時等現場点検結果報告書 (例)

工事名	工第〇〇－４１３００－〇〇〇〇号 〇〇〇〇〇〇〇〇工事		
場 所	市 地内		
請負者	〇〇〇〇〇(株)		
現場代理人	〇〇〇〇		
点検日時	開 始	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分	
(24時間表示)	終 了	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分	
点検項目	異常の有無		
○現場内の状況			
・法面の崩壊	無し		
・法面の亀裂	有り (延長00m、法長00m)		
・法面からの湧水	無し		
・路面の陥没	無し		
・仮設の設置状況	無し		
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し		
・架空線の切断、電柱の転倒等	無し		
・河川、水路の水位の上昇状況	無し		
・土石流の発生	無し		
・地すべりの発生	無し		
○現場周辺の状況			
・法面の状況	無し		
・路面の状況	無し		
・流末排水の状況	無し		
・雨量計の読み取り	000 mm		
・土石流危険渓流の状況	無し		
・砂防指定地の状況	無し		
・急傾斜地崩壊危険区域の状況	無し		
・地すべり危険区域の状況	無し		
・その他異常の有無	無し		
処置内容			
・No. 0～No. 10左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。			

第25章 再生資源利用計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第26章 再生資源利用促進計画書

(本章はすべての工事に該当する)

- 1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

- 2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料（確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照）として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
- 3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書（※技術管理課ホームページ参照）の交付を求め、その写しを5年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第9条の規定によるものとする。（※試行要領は技術管理課ホームページ参照）
- 4 受注者は、土壌汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果（確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照）を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

~~第27章 三者協議~~

~~本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。~~

~~第28章 国土強靱化事業の取組に関する広報~~

~~本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。~~

~~記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。~~

工事名標示板のイメージ（例）

ご協力をお願いします	
洪水被害を防ぐため、 土砂を撤去しています	
いのちとくらしをまもる防災減災 国土強靱化対策工事	
令和○年○月○日まで 時間帯○:○○～○:○○	
河川(交付)工事(開削)	
発注者	福島県○○建設事務所 ○○課
施工者	○○○○建設株式会社
電話	○○-○○○○-○○○○

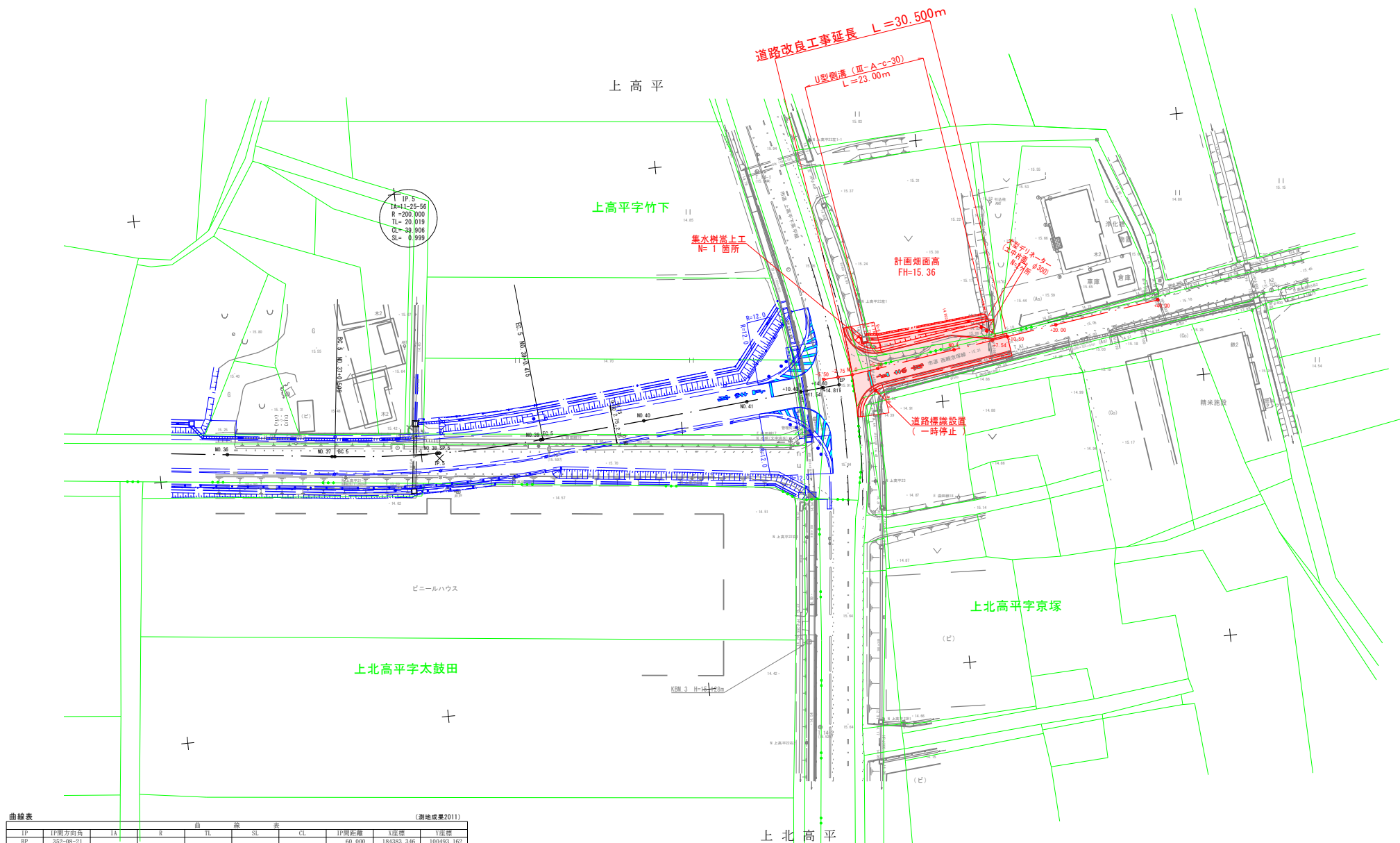
※主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

☑第29章 その他

(1) 工事書類の簡素化について

1. 本工事は福島県土木部における「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」に基づき実施するものとする。
2. これに定められていないものは、監督職員と協議するものとする。

平面図
南相馬市原町区



曲線表 (測地成果2011)									
IP	IP間方向角	XA	R	TL	SL	CL	IP間距離	X座標	Y座標
BP	352.08-21						60.000	184353.346	100403.162
EP								184442.782	100484.956

中心線座標一覧 (測地成果2011)		
点名	X座標	Y座標
NO.0-5.50	184377.855	100493.498
NO.0-2.75	184380.401	100493.825
NO.0 (BP)	184383.346	100493.162
NO.0-5.00	184388.299	100492.478
NO.1	184403.158	100490.427
NO.1+7.54	184410.627	100489.295
NO.1+20.00	184422.970	100487.491
NO.1+40.00 (EP)	184442.782	100484.956

水準点座標一覧 (測地成果2011)		
点名	標高	
B283	15.128	

基準点座標一覧 (測地成果2011)		
点名	X座標	Y座標
T.13	184324.348	100501.265
T.14	184375.397	100506.822
T.14-1	184369.251	100452.764
T.14-2	184370.969	100506.260
T.A1	184413.581	100487.608
T.A2	184464.588	100485.341

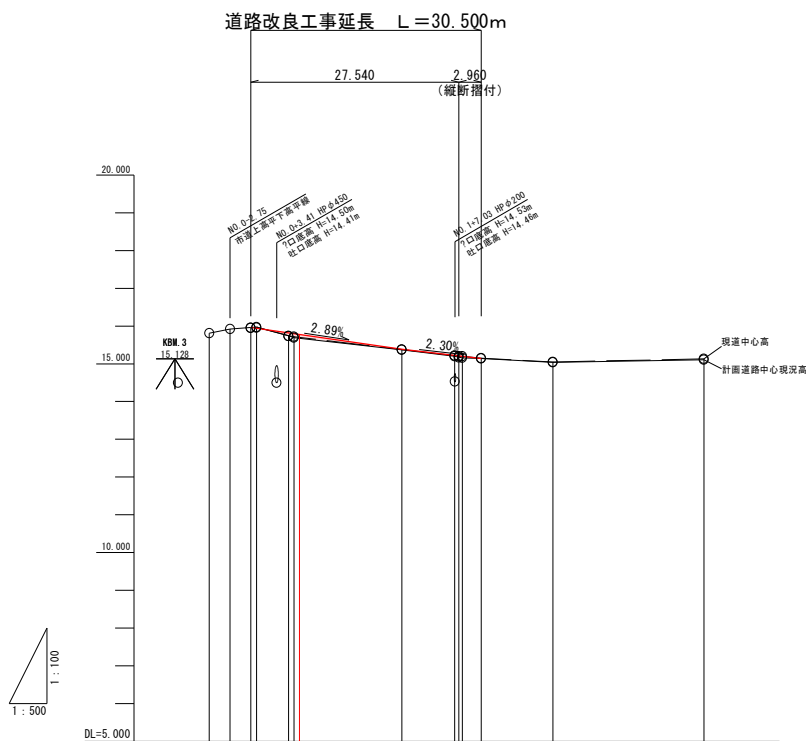
※ 座標の基準は、2級基準点H29-基Ⅱ-6、H29-基Ⅱ-12、H29-基Ⅱ-17を基準とする。
世界測地系 (測地成果2011)

※ 標高の基準は、2級基準点H29-基Ⅱ-12 H=14.880を基準とする。
世界測地系 (測地成果2011)

令和7年度 工事番号			
西殿京塚線		南相馬市原町区上高平字竹下 地内外	
社会資本整備総合交付金事業 道路改良 (西殿京塚線) 工事			
平 面 図			
縮 尺	1 : 500	図面 番号	1 / 8
測 量		主 任 技 術 者	
設 計		管 理 技 術 者	十
南 相 馬 市			

縦断図

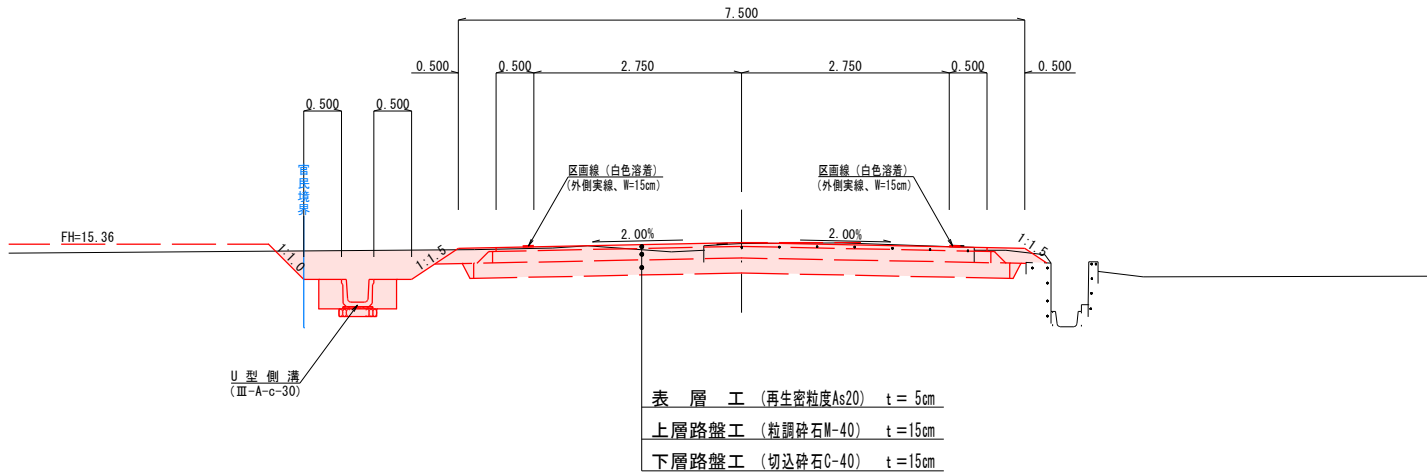
V=1:100
H=1:500



片															
配															
曲線半径															
±	0.000	0.076	0.012	0.038	0.000										
±															
切															
計画高		15.960	15.816	15.382	15.208	15.140									
地盤高	15.81	15.92	15.96	15.74	15.20	15.16	15.14	15.04	15.11						
追加距離	-5.500	-2.750	0.000	5.000	27.000	28.000	30.500	40.000	60.000						
車道幅	0.000	5.000	15.000	7.500	2.960	40.000	60.000								
点	-5.50	-2.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
線															
曲															
端															
抵															
配図															
片															

標準横断図

S=1:50

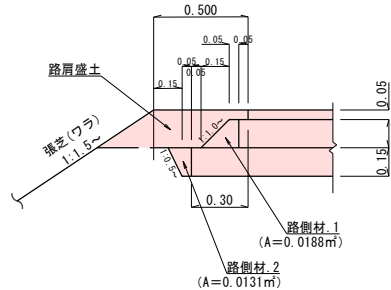


舗装構造 (車道部)

工 法	材 料	厚 さ	T A
表 層 工	再生密粒度As20	5 c m	5.00cm
上層路盤工	粒調砕石 (M-40)	15 c m	5.25cm
下層路盤工	切込砕石 (C-40)	15 c m	3.75cm
合 計 厚		35 c m	14.00cm

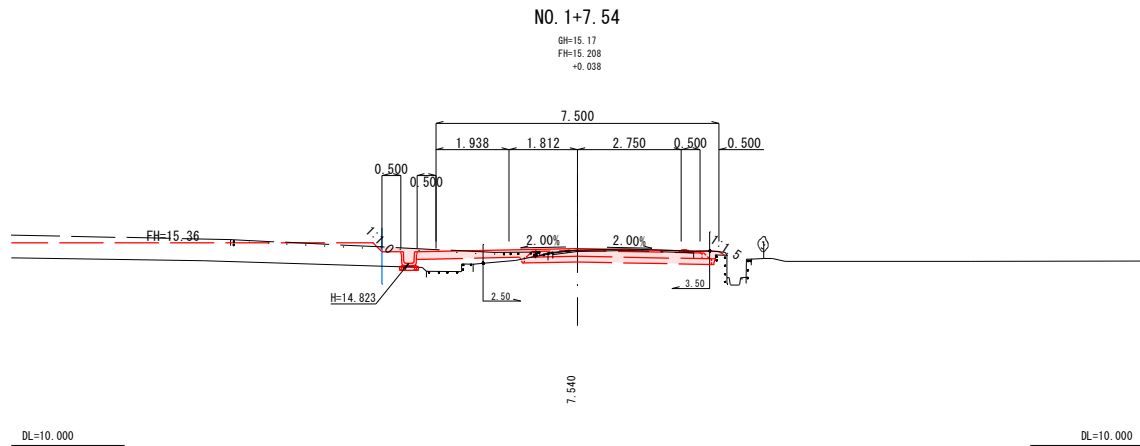
路肩詳細図

S=1:20

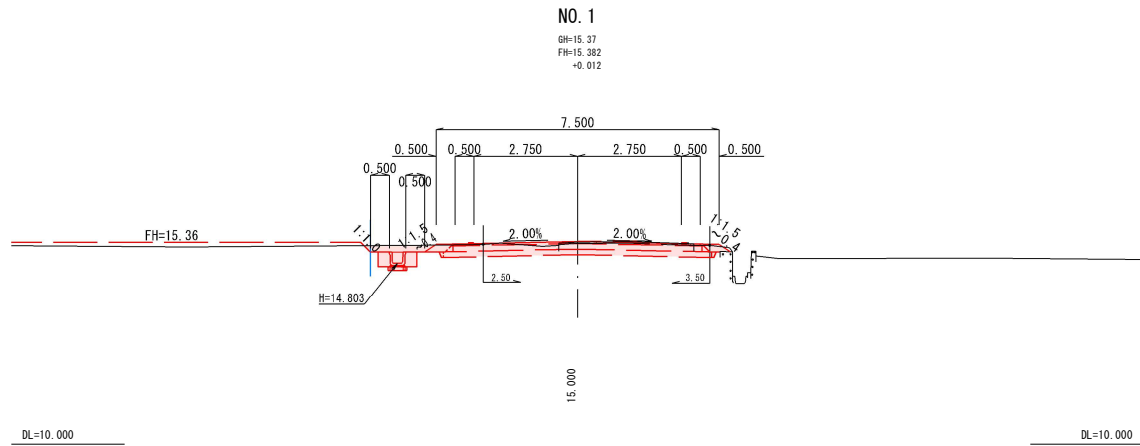


※ 標高の基準は、2級基準点H29-基Ⅱ-12 H=14.880
を基準とする。
世界測地系 (測地成果2011)

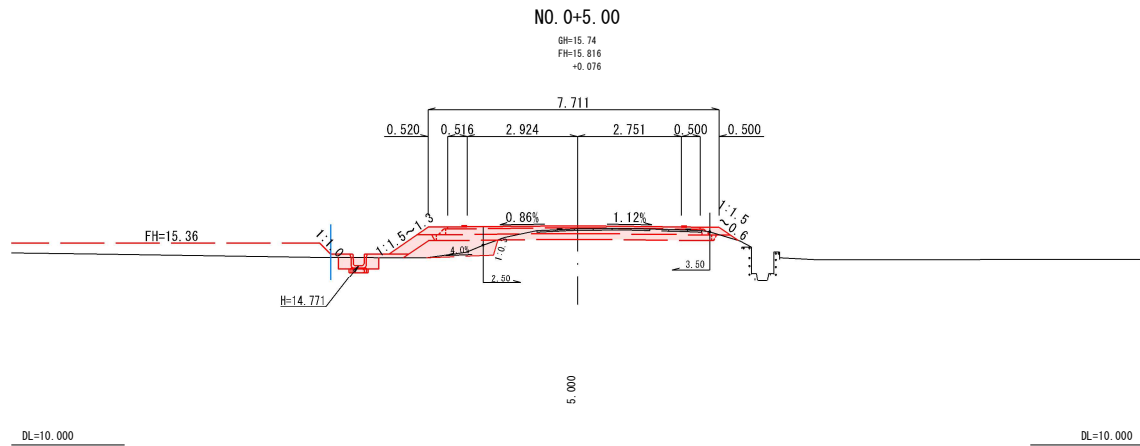
令和7年度 工事番号 第 号			
西 殿 京 塚 線 南相馬市原町区上高平字竹下 地内外			
社会資本整備総合交付金事業 道路改良 (西殿京塚線) 工事			
縦断図・標準横断図			
縮尺	図 示	図面番号	2 / 8
測量		主 任 技 術 者	
設計		管 理 技 術 者	
南 相 馬 市			



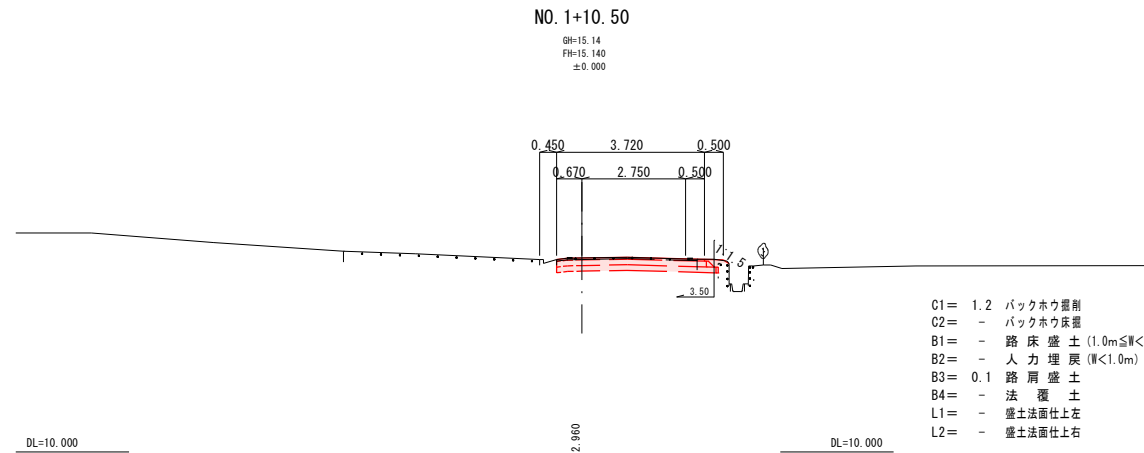
- C1= 1.5 バックホウ掘削
C2= 0.1 バックホウ床置
B1= - 路床盛土 (1.0m≦W<2.5m)
B2= 0.8 人力埋戻 (W<1.0m)
B3= 0.7 路肩盛土
B4= - 法覆土
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 盛土法面仕上右



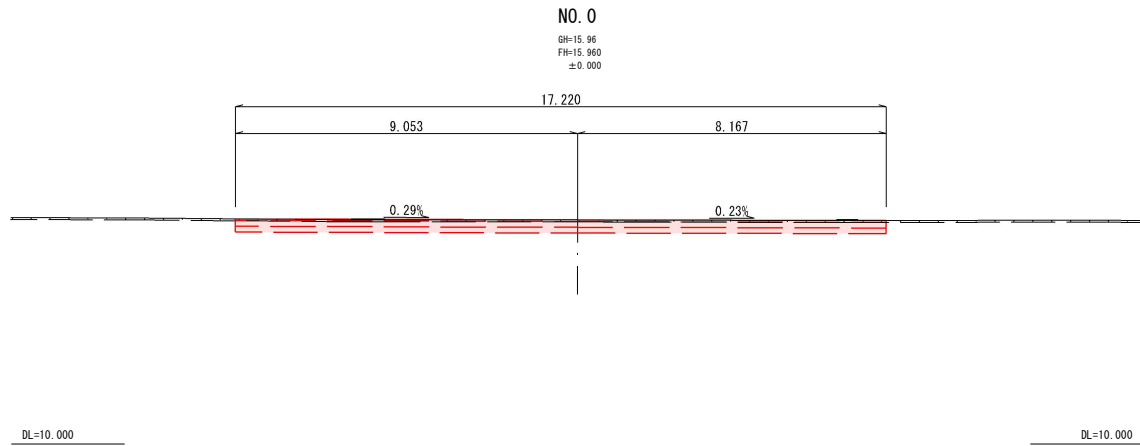
- C1= 2.7 バックホウ掘削
C2= 0.5 バックホウ床置
B1= - 路床盛土 (1.0m≦W<2.5m)
B2= 0.2 人力埋戻 (W<1.0m)
B3= 0.2 路肩盛土
B4= - 法覆土
L1= 0.4 盛土法面仕上左
L2= 0.4 盛土法面仕上右



- C1= 1.2 バックホウ掘削
C2= 0.4 バックホウ床置
B1= 0.7 路床盛土 (1.0m≦W<2.5m)
B2= 0.3 人力埋戻 (W<1.0m)
B3= 0.2 路肩盛土
B4= 0.3 法覆土
L1= 1.3 盛土法面仕上左
L2= 0.6 盛土法面仕上右



- C1= 1.2 バックホウ掘削
C2= - バックホウ床置
B1= - 路床盛土 (1.0m≦W<2.5m)
B2= - 人力埋戻 (W<1.0m)
B3= 0.1 路肩盛土
B4= - 法覆土
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 盛土法面仕上右



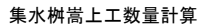
- C1= 5.2 バックホウ掘削
C2= - バックホウ床置
B1= - 路床盛土 (1.0m≦W<2.5m)
B2= - 人力埋戻 (W<1.0m)
B3= - 路肩盛土
B4= - 法覆土
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 盛土法面仕上右

※ 標高の基準は、2級基準点H29-基Ⅱ-12 H=14.880
を基準とする。
世界測地系（測地成果2011）

NO. 0 - NO. 1+7.54

令和7年度 工事番号 第 号			
西 殿 京 塚 線 南相馬市原町区上高平字竹下 地内外			
社会資本整備総合交付金事業 道路改良（西殿京塚線）工事			
横 断 図			
縮 尺	1 : 100	図 面 番 号	3 / 8
測 量		主 任 技 術 者	
設 計		管 理 技 術 者	
南 相 馬 市			

$S = 1 : 20$

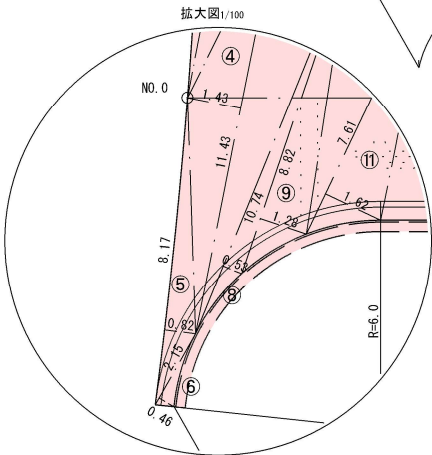
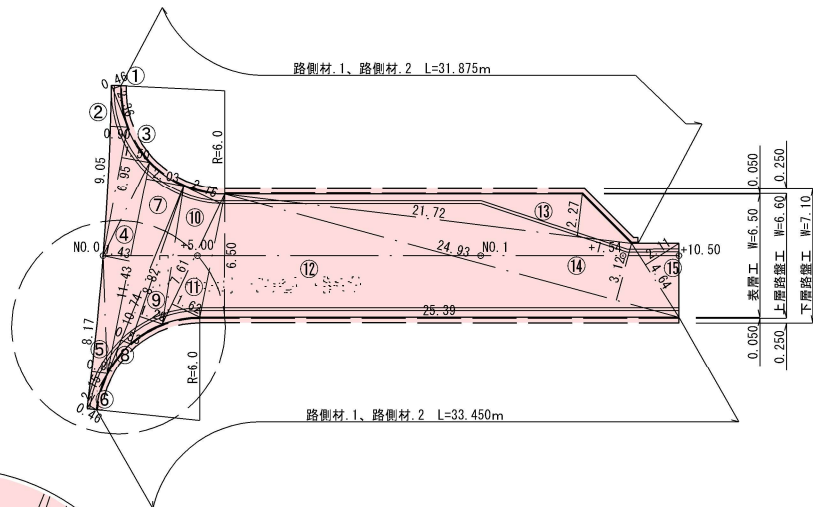


土工数量計算

令和7年度 工事番号 第 号			
西 殿 京 塚 線		南相馬市原町区上高平字竹下 地内外	
社会資本整備総合交付金事業 道路改良 (西殿京塚線) 工事			
構 造 図			
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 8
測 量		主 任 技術者	
設 計		管 理 技術者	
南 相 馬 市			

舗装工展開図

S=1 : 200



符号	計 算 式			計
①	2.36	×	0.46 × 1/2	0.54 m ²
②	9.05	×	0.90 × 1/2	4.07 m ²
③	6.95	×	1.50 × 1/2	5.21 m ²
④	11.43	×	1.43 × 1/2	8.17 m ²
⑤	8.17	×	0.82 × 1/2	3.35 m ²
⑥	2.15	×	0.46 × 1/2	0.49 m ²
⑦	11.43	×	2.03 × 1/2	11.60 m ²
⑧	10.74	×	0.53 × 1/2	2.85 m ²
⑨	8.82	×	1.28 × 1/2	5.64 m ²
⑩	7.61	×	2.15 × 1/2	8.18 m ²
⑪	7.61	×	1.62 × 1/2	6.16 m ²
⑫	25.39	×	6.50 × 1/2	82.52 m ²
⑬	21.72	×	2.27 × 1/2	24.65 m ²
⑭	24.93	×	3.12 × 1/2	38.89 m ²
⑮	4.64	×	2.11 × 1/2	4.90 m ²
合 計				207.22 m ²

舗装数量計算

表層工 (再生密粒度As20、t =5cm)

A = 207.22m²

上層路盤工 (粒調砕石 M-40、t =15cm)

A = 207.22m² + (31.875+33.450) × 0.05 = 210.49m²

路側材.1 (粒調砕石 M-40)

V = (31.875+33.450) × 0.0188m³ = 1.2m³

下層路盤工 (切込砕石 C-40、t =15cm)

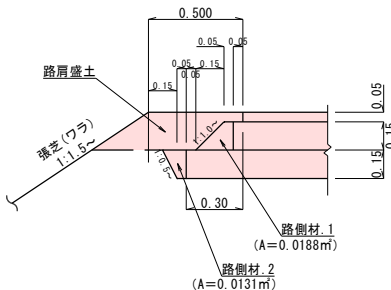
A = 207.22m² + (31.875+33.450) × 0.30 = 226.82m²

路側材.2 (切込砕石 C-40)

V = (31.875+33.450) × 0.0131m³ = 0.9m³

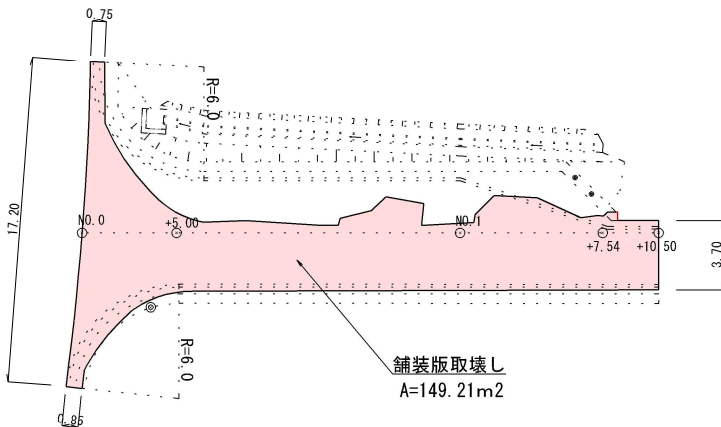
路肩詳細図

S=1 : 20



舗装取壊工展開図

S=1 : 200



取壊し工数量計算

舗装版切断 (As版、t =4cm)

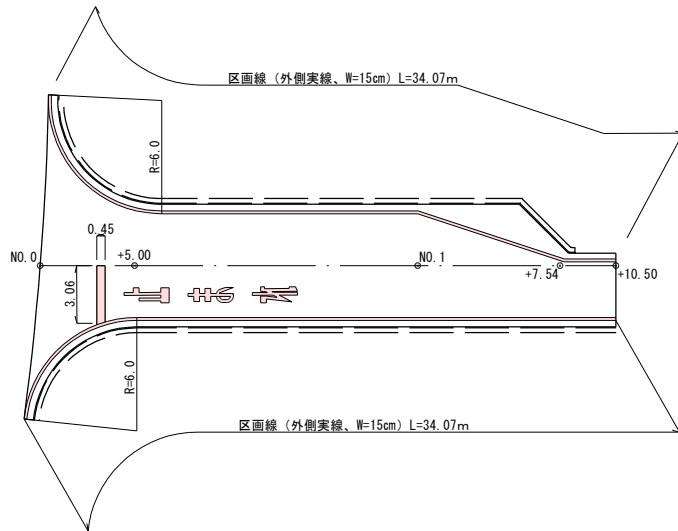
L = 17.20+0.75+0.85+3.70 = 22.50m

舗装版取壊し (As版、t =4cm)

A = 149.21m²

区画線展開図

S=1 : 200



区画線数量計算

区画線 (外側実線、W=15cm)

L = 34.07+34.07 = 68.14m

区画線 (停止線、W=45cm)

L = 3.06m

区画線 (文字 (止まれ)、幅15cm換算施工実延長)

L = 5.60+6.75+7.26 = 19.61m

令和7年度 工事番号 第 号			
西 殿 京 塚 線 南相馬市原町区上高平字竹下 地内外			
社会資本整備総合交付金事業 道路改良 (西殿京塚線) 工事			
展 開 図			
縮 尺	図 示	図 面 番 号	5 / 8
測 量		主 任 技 術 者	
設 計		管 理 技 術 者	
南 相 馬 市			

平面図
(3-1)

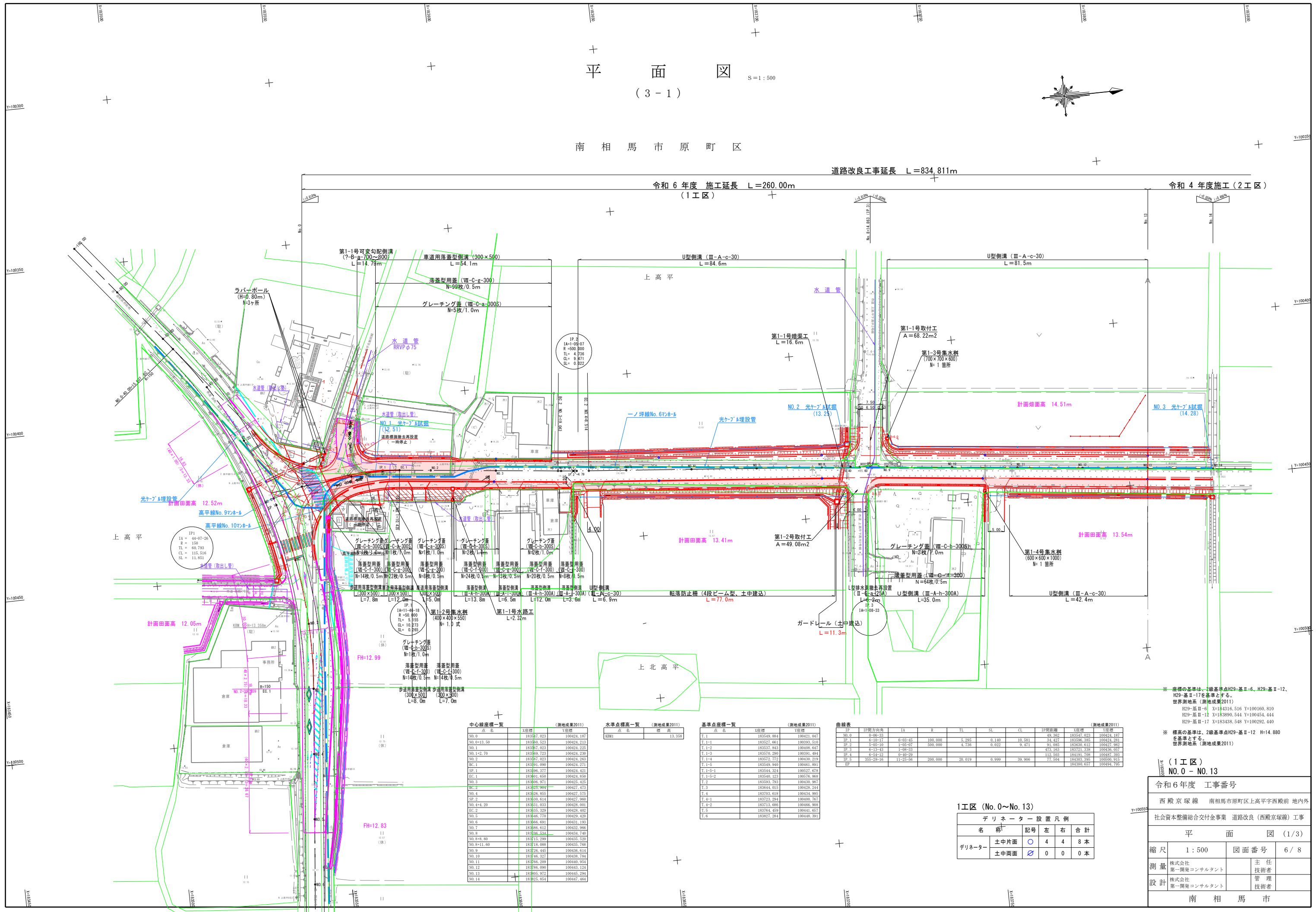
S=1:500

南相馬市原町区

道路改良工事延長 L=834.811m

令和6年度 施工延長 L=260.00m
(1工区)

令和4年度施工(2工区)



※ 座標の基準は、2級基準点H29-基Ⅱ-6、H29-基Ⅱ-12、H29-基Ⅱ-17を基準とする。
世界測地系(測地成果2011)
H29-基Ⅱ-6 X=184316.516 Y=100160.810
H29-基Ⅱ-12 X=183890.544 Y=100454.444
H29-基Ⅱ-17 X=183438.548 Y=100292.440
※ 標高の基準は、2級基準点H29-基Ⅱ-6、H29-基Ⅱ-12、H29-基Ⅱ-17を基準とする。
世界測地系(測地成果2011)

中心線座標一覧			(測地成果2011)		
NO.	点名	X座標	Y座標	点名	Y座標
NO.0		183547.023	100424.187		
NO.0+13.50		183547.023	100424.187		
NO.1		183547.023	100424.225		
NO.1+2.70		183549.723	100424.230		
NO.2		183547.023	100424.283		
NO.2		183549.999	100424.277		
SP.1		183546.377	100424.421		
EC.1		183540.150	100424.859		
NO.3		183546.971	100425.425		
SC.2		183545.999	100427.473		
NO.4		183546.855	100427.575		
SP.2		183530.614	100427.960		
NO.4+4.20		183531.033	100428.001		
EC.2		183535.329	100428.402		
NO.5		183546.770	100429.420		
NO.6		183546.691	100431.193		
NO.7		183546.612	100432.966		
NO.8		183546.534	100434.740		
NO.8+8.80		183545.299	100435.520		
NO.8+11.60		183545.088	100435.766		
NO.9		183526.445	100436.614		
NO.10		183546.327	100438.784		
NO.11		183546.209	100440.954		
NO.12		183546.090	100443.124		
NO.13		183505.972	100445.294		
NO.14		183525.854	100447.464		

水準点標高一覧			(測地成果2011)		
点名	標高	点名	標高	点名	標高
K201	13.358				

基準点座標一覧			(測地成果2011)		
点名	X座標	Y座標	点名	X座標	Y座標
T.1	183549.884	100421.047			
T.1-1	183527.661	100395.510			
T.1-2	183537.843	100408.647			
T.1-3	183570.290	100391.404			
T.1-4	183572.772	100430.219			
T.1-5	183549.940	100461.803			
T.1-5-1	183544.324	100527.678			
T.1-5-2	183540.123	100576.868			
T.2	183593.793	100430.987			
T.3	183444.015	100428.244			
T.4	183703.618	100434.965			
T.4-1	183723.294	100400.767			
T.4-2	183713.686	100466.908			
T.5	183764.459	100441.657			
T.6	183827.284	100448.391			

曲線表											(測地成果2011)		
IP	IP側方面角	IA	R	YL	SL	CL	IP側距離	X座標	Y座標				
NO.0	0-06-33						0.000	183547.023	100424.187				
IP.1	6-10-17	6-03-45	100.000	5.295	0.140	10.581	34.427	183596.385	100434.281				
IP.2	5-05-10	1-05-07	500.000	4.736	0.622	9.471	91.085	183630.612	100427.982				
IP.3	6-13-43	1-08-33					473.183	183721.338	100436.957				
IP.4	6-54-12	0-40-29					112.593	184191.708	100487.393				
IP.5	355-28-16	11-25-56	200.000	20.019	0.999	39.906	77.504	184303.395	100500.915				
EP								184360.657	100484.785				

デリネーター設置凡例				
名称	記号	左	右	合計
デリネーター	土中片面	○	4	4
	土中両面	○	0	0
				8本

(1工区)
NO.0 ~ NO.13

令和6年度 工事番号

西殿京塚線 南相馬市原町区上高平字西殿前 地内外

社会資本整備総合交付金事業 道路改良(西殿京塚線) 工事

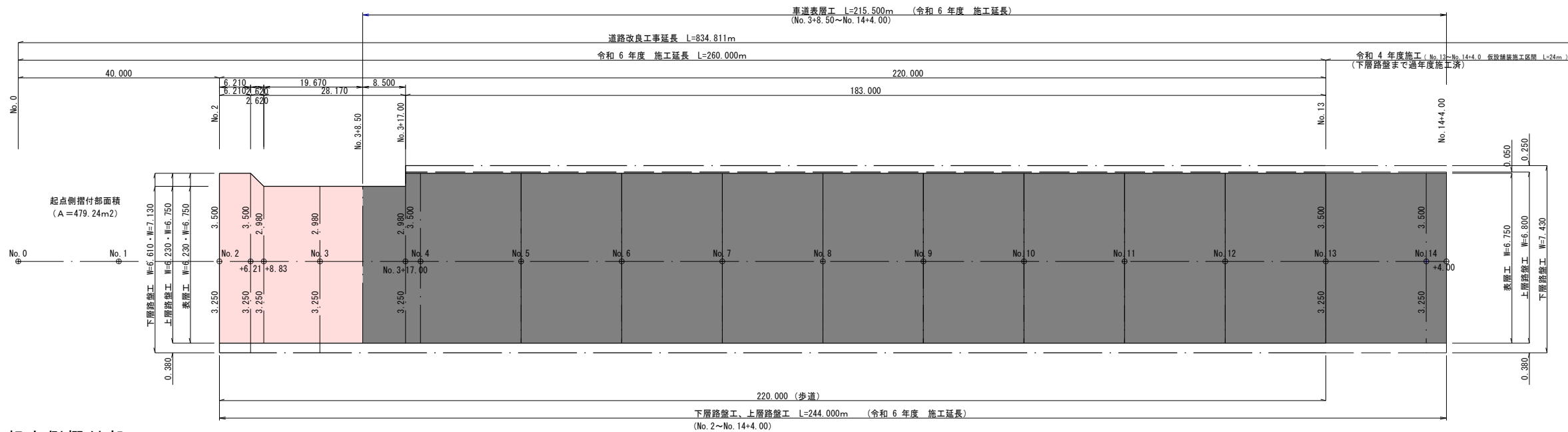
平面図 (1/3)

縮尺	1:500	図面番号	6/8
測量	株式会社 第一開発コンサルタント	主 任 技 術 者	
設計	株式会社 第一開発コンサルタント	管 理 技 術 者	

南 相 馬 市

車道舗装工展開図（1工区）

V=1:100
H=1:500



起点側摺付部

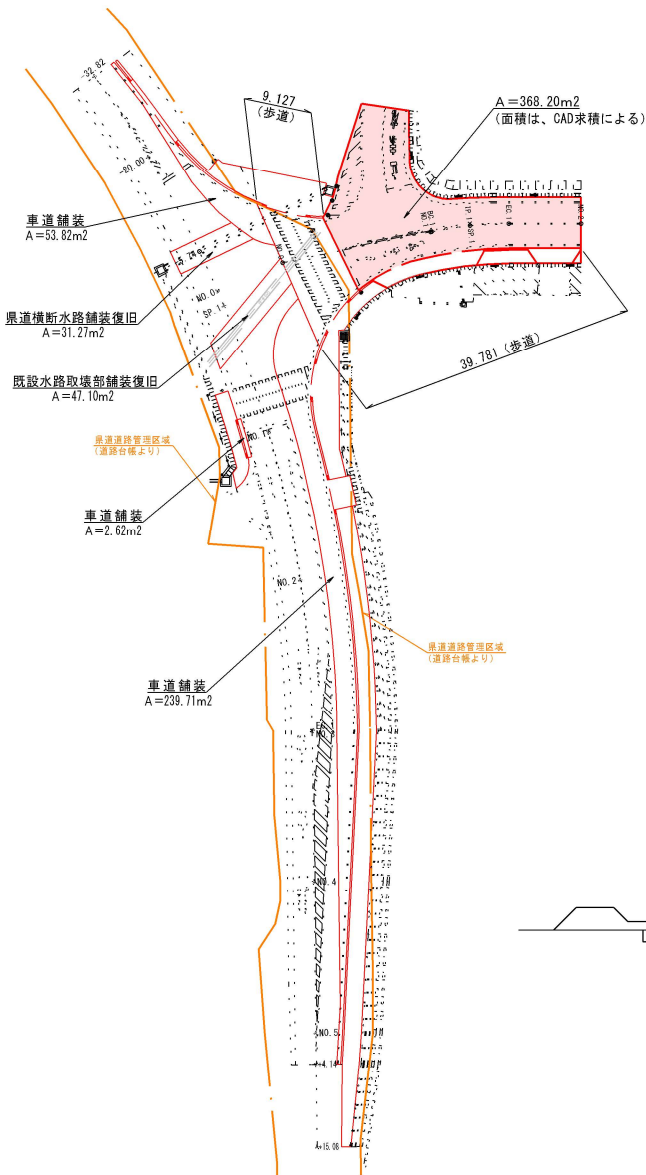
S=1:500

1工区

車道舗装数量計算（1工区）

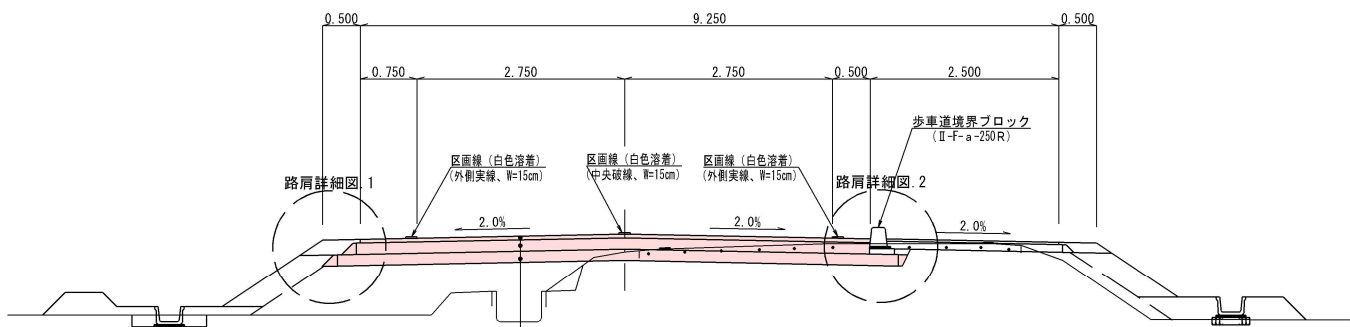
表層工（再生密粒度As20、t=5cm）

$$A = 368.20 + 6.23 \times 19.67 + (6.75 + 6.23) / 2 \times 2.62 + 6.75 \times 6.21 = 549.67 \approx 549.7 \text{m}^2$$



標準横断図

S=1:50



車道舗装工

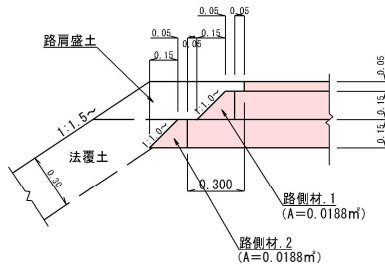
表層工（再生密粒度As20） t=5cm

上層路盤工（粒調碎石M-40） t=15cm

下層路盤工（切込碎石C-40） t=15cm

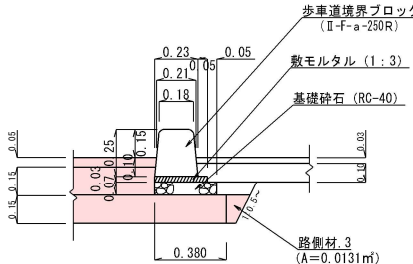
路肩詳細図.1

S=1:20



路肩詳細図.2

S=1:20

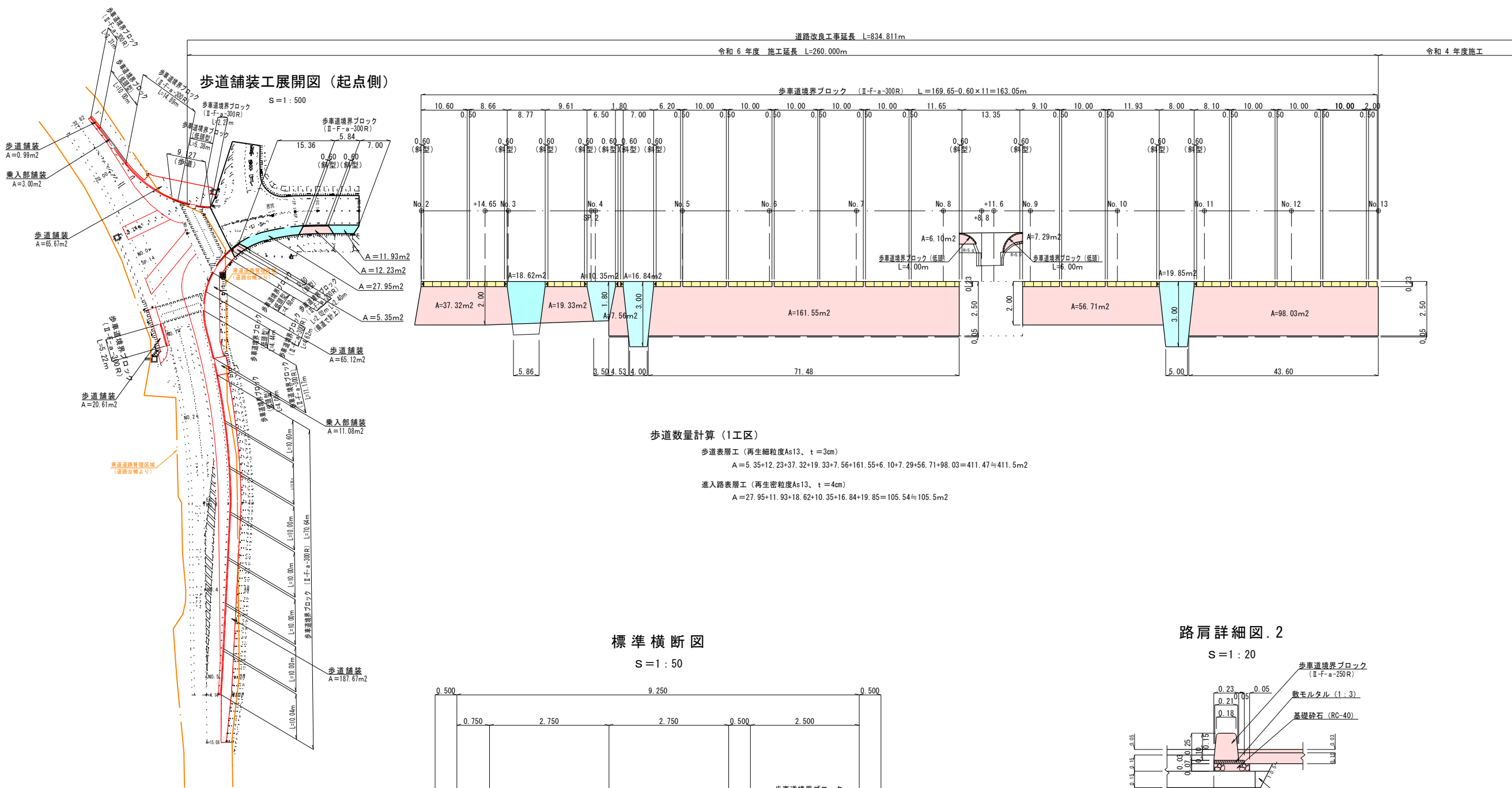


（1工区）

令和 年度 工事番号			
西 殿 京 塚 線 南相馬市原町区上高平字西殿前 地内外			
社会資本整備総合交付金事業 道路改良（西殿京塚線）工事			
車道舗装工展開図			
縮尺	図示	図面番号	7 / 8
測量		主 任 技 術 者	門 馬 徹
設計	株式会社 第一開発コンサルタント	管 理 技 術 者	高 力 時 夫
南 相 馬 市			

歩道舗装工展開図（1工区）

V=1:100
H=1:500

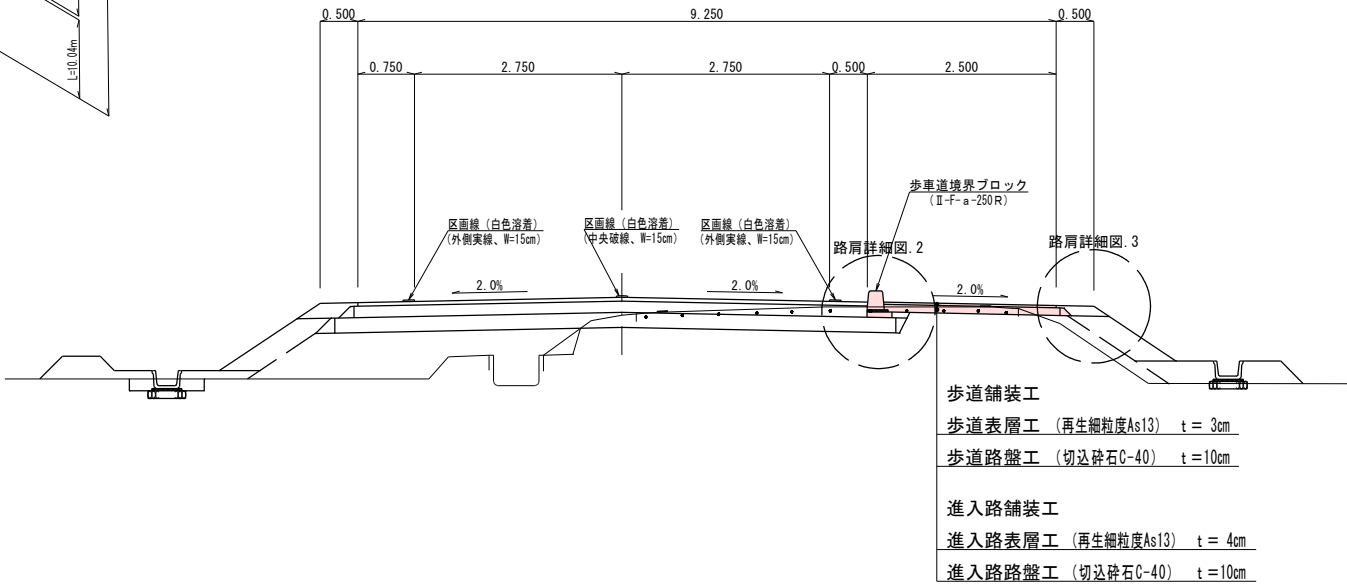


歩道数量計算（1工区）

歩道表層工（再生細粒度As13、t=3cm）
A=5.35+12.23+37.32+19.33+7.56+16.55+6.10+7.29+56.71+98.03=411.47≒411.5m²
進入路表層工（再生密粒度As13、t=4cm）
A=27.95+11.93+18.62+10.35+16.84+19.85=105.54≒105.5m²

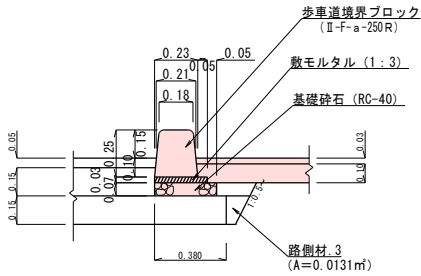
標準横断面図

S=1:50



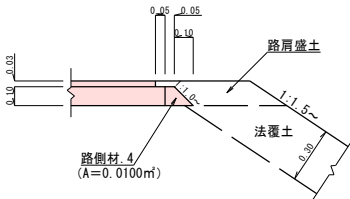
路肩詳細図.2

S=1:20



路肩詳細図.3

S=1:20



（面積は、CAD求積による）

（1工区）

令和7年度 工事番号			
西 殿 京 塚 線 南相馬市原町区上高平字西殿前 地内外			
社会資本整備総合交付金事業 道路改良（西殿京塚線）工事			
歩 道 舗 装 工 展 開 図			
縮 尺	図 示	図 面 番 号	8 / 8
測 量		主 任 技 術 者	
設 計	株式会社 第一開発コンサルタント	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市			